

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策講座Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 月3・4	教室名	304
担 当 教 員	松尾 起命	実務経験と その関連資格	柔道整復師免許(実務経験:4年)			
《授業科目における学習内容》						
解剖学の復習						
《成績評価の方法と基準》						
素点:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
解剖学 改訂第2版 南江堂						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿い、講義・国家試験に準じた復習を行う。 講義で使用了口頭試問問題・四択問題を解く。						
《履修に当たっての留意点》						
資料や図形を用いて、立体的に理解すること。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	骨格系の理解を深める。		解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマに おける 授業予定	全身の骨の復習			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	骨格系の理解を深める。		解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマに おける 授業予定	全身の骨の復習			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	筋系の理解を深める。		解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマに おける 授業予定	上肢の筋の名前、グループ分け、支配神経の復習			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	筋系の理解を深める。		解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマに おける 授業予定	下肢の筋の名前、グループ分け、支配神経の復習			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	筋系の理解を深める。		解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマに おける 授業予定	上肢の筋の起始・停止・作用の復習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	上肢の筋の起始・停止・作用の復習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	下肢の筋の起始・停止・作用の復習		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	下肢の筋の起始・停止・作用の復習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	体幹の筋の起始・停止・作用の復習		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	体幹の筋の起始・停止・作用の復習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	復習テスト		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈管系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	総論		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈管系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	心臓		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈管系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	心脈管系		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈管系の理解を深める。	解剖学 改訂第2版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	心脈管系		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	柔整臨床実技Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 木・1, 2限	教室名	実技室2
担 当 教 員	岡本 一馬	実務経験とその関連資格	柔道整復師 専科教員 かとう整形外科7年勤務 みどりまち接骨院5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
実技認定試験に対応する内容である。実際の臨床との関連を明確にし、卒業後においても役に立つ内容を提供する。また、柔道整復師国家試験の対象範囲でもあるため国家試験も意識した授業を心がける。						
《成績評価の方法と基準》						
柔道整復試験財団が実施する認定実技審査の評価に基づいて実技試験を実施し評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復理論、柔道整復実技、オリジナルレジュメ						
《授業外における学習方法》						
オリジナルレジュメに基づいて自宅学習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
臨床を常に想定しながら、各外傷の知識と技術を習得するために真剣に取り組んでもらう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	橈骨遠位端骨折について理解し、診察と整復を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折 診察 牽引直圧整復法・屈曲整復法			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折の固定を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	コーレス骨折 クラメル副子と局所副子・三角巾固定			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボクサー骨折の特徴を理解する		柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	第5中手骨頸部骨折 アルミ副子掌側固定			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	第5中手骨頸部骨折の固定を習得する		柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	第5中手骨頸部骨折 アルミ副子掌側固定			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	第2指PIP関節背側脱臼について理解する		柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	第2指PIP関節背側脱臼 アルミ副子背側固定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	鎖骨骨折について理解し、整復法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折 整復法		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	鎖骨骨折の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	鎖骨骨折 固定法		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼について理解し、診察と整復法を取得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩鎖関節脱臼 診察と整復法		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩鎖関節脱臼 固定法		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨外科頸外転型骨折について理解し、診察と整復を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	上腕骨外科頸外転型骨折 診察と整復		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨骨幹部骨折について理解し、固定具を作成	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	上腕骨骨幹部骨折 ミッドドルフ固定		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨骨幹部骨折の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	上腕骨骨幹部骨折 ミッドドルフ固定		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼について理解し、診察と整復法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩関節前方烏口下脱臼 診察と整復法		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼の固定を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肩関節前方烏口下脱臼 局所副子・三角巾固定		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	肘関節後方脱臼について理解し、診察と整復法を習得する	柔道整復理論、 柔道整復実技およびレジュメ	
		各コマにおける授業予定	肘関節後方脱臼 診察と整復法		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復学基礎Ⅱ（柔道整復学を総合的に学ぶ）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30（2）時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 水・3限	教室名	302教室
担 当 教 員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格	接骨院開業経験 柔道整復師免許 柔道整復師専科教員資格			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復学を総合的に学び、他科目についても学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改定第7版						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って本読み・問題を繰り返し解き学習する。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験の出題数が一番多い科目である。意識して復習し、理解を深めて欲しい。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することがで きるようになる。		柔道整復学・理 論編 改定第7 版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改 定第7版本読み・問題の 復習
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することがで きるようになる。		柔道整復学・理 論編 改定第7 版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改 定第7版本読み・問題の 復習
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することがで きるようになる。		柔道整復学・理 論編 改定第7 版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改 定第7版本読み・問題の 復習
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することがで きるようになる。		柔道整復学・理 論編 改定第7 版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改 定第7版本読み・問題の 復習
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することがで きるようになる。		柔道整復学・理 論編 改定第7 版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改 定第7版本読み・問題の 復習
		各コマに おける 授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験出題基準の問題の解答・解説により理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	必修問題・一般問題国試出題基準の問題・解説		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期学習内容の復習を行い、苦手分野を把握し理解することができるようになる。	柔道整復学・理論編 改定第7版・問題プリント	柔道整復学・理論編 改定第7版本読み・問題の復習
		各コマにおける授業予定	前期内容復習・まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習演習
科 目 名		臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	後期 金曜日	教室名	外部実習先
担 当 教 員		奥出 一貴	実務経験とその関連資格	柔道整復師免許 柔道整復師専科教員免許 日本赤十字救急法指導員、NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》							
臨床実習の目的と意義。 オリエンテーションにて実習の心構え、容姿、注意点等の説明。 外部施設での見学実習							
《成績評価の方法と基準》							
レポート提出・態度と容姿、参加度を総合的に判断する。(実習指導調整者、科目担当者)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
公益社団法人全国柔道整復学校協会 臨床実習ガイドライン							
《授業外における学習方法》							
臨床における実践的能力及び保険の仕組みに関する知識。患者との適切な対応、施術者になるための責任と自覚。 医療人としての倫理やマナー、容姿。多種職連携の重要性。							
《履修に当たっての留意点》							
臨床実習現場にて、美作市スポーツ医療看護専門学校の学生としてふさわしい容姿や受け答えのできる人材。							
授業の方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。				
		各コマにおける授業予定	白うさぎ整骨院				
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。				
		各コマにおける授業予定	白うさぎ整骨院				
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標					
		各コマにおける授業予定	白うさぎ整骨院				
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。				
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院				
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。				
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において受付、問診、施術を通して患者とのコミュニケーションの方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において施術録や保険証などの個人情報の取扱いについて理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において施術録や保険証などの個人情報の取扱いについて理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場実習において施術録や保険証などの個人情報の取扱いについて理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	大谷接骨院たつの院		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習に参加し、各学生が実際に見学し気になった症例について説明することでプレゼンテーション力が向上することができる。		
		各コマにおける授業予定	症例報告会		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習に参加し、各学生が実際に見学し気になった症例について説明することでプレゼンテーション力が向上することができる。		
		各コマにおける授業予定	症例報告会		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習に参加し、各学生が実際に見学し気になった症例について他の学生の症例について考察し症例について理解を深めることができる。		
		各コマにおける授業予定	症例報告会		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習に参加し、各学生が実際に見学し気になった症例について他の学生の症例について考察し症例について理解を深めることができる。		
		各コマにおける授業予定	症例報告会		